

# 総務文教委員会会議録

平成25年2月25日

13時00分

開会

13時14分

閉会

網走市議会

午後 1 時00分開会

### ○小田部委員長

ただいまから総務文教委員会を開会いたします。

本日の委員会は特別支援学校高等部の誘致についての議件 1 件であり、本件については委員の皆様にご案内のとおり、1月17日の委員会において説明を受けた件であり、本日は説明に引き続いて皆さんに報告、協議をいただきたいと、このように思います。

それでは早速議事に入ります。岩永企画調整課長説明をお願いします。

### ○岩永企画調整課長

それでは特別支援学校高等部の誘致について御説明申し上げます。資料をごらんください。

学校法人日本体育大学では、昨年12月に開催された理事・評議員会で、特別支援学校高等部の創設が協議され、理事・評議員の全員の御理解、御賛同が得られたことから、その創設準備が開始されておりました。

また、今年1月の下旬には約半数の理事・評議員に旧北海道立網走高等技術専門学院を初めとして、スポーツ施設や医療施設などを御視察いただき、高い評価をいただいたところでございます。

その後、学校法人では創設に係る諸課題について検討を加えた結果、その克服は可能であるとの判断を下しまして、2月22日に開催された理事・評議員会で当該施設を活用した特別支援学校高等部の創設が満場一致の賛成で正式に決定されたところでございます。

市としましては、当該施設と用地及び学校設置基準を満たすために必要な用地を取得した上で、これを無償譲渡することを基本といたしまして、今後必要な支援策につきましては、学校法人と協議してまいります。

開校は2年後の平成27年4月を予定しております。大曲の旧北海道立網走高等技術専門学院の施設用地を活用いたします。取得する用地は、道有地・国有地を合わせて約1万9,700平米で、取得する施設は、管理棟、実習棟、体育館を合わせて約3,900平米となる見込みです。

新設構想については、5に記載のとおりですのでお読み取りいただきたいと思っております。

私からは以上です。

### ○飯田委員

無償譲渡するということなのですが、道なり

国との協議が相当進んでいると思っております。今後必要な支援策としては、この取得した土地の中で建物、管理棟、実習棟、体育館がありますが、これ以外にこの特別支援学校が必要とする施設というのは概略的にあるのでしょうか。

### ○岩永企画調整課長

ここで示した施設以外に全寮制の特別支援学校ということですので、その寮を設置する必要があります。日体大の意向としましては、市内の業者に建設をお願いして、それを借り上げるという形で運営をしたいというふうにお聞きしています。

国と道の協議の関係ですが、北海道や国に対しては内々にはお話をしておりますが、正式な事務手続については今後ということですので。

### ○飯田委員

必要な支援策というのはここに書かれている取得施設と全寮制の寮。寮というのは、この必要な支援策の中には、どんな形で入るかの入らないのか。

### ○岩永企画調整課長

先ほど若干触れましたけれども、寮の設置については民間の事業者が建設し、それを借り上げるという形で運営をするということですので。

### ○飯田委員

新設構想の中で、たしか9月ごろまでに文科省に学校としての申請をします。

その中で今言った、管理棟、実習棟、体育館があります。無償譲渡された場合には、それのほかに寮や何かもある程度、全部一括して申請ということで、それはそれとして、この新設構想の中に、募集して、1学年定数が40ということで、40・80・120という形でふえていって、その後の進路の問題とかいろいろあるのですが、その辺を含めての私は話し合いはなされていると思っておりますけれども、その辺はいかかですか。

### ○岩永企画調整課長

まずスケジュールの関係ですけれども、ことし9月までに設置認可の計画書を日体大が提出することになります。北海道に対しては、許認可権者は知事になります。その段階ではまだ施設が整っていないという状況です。

ただし、その1年後、来年9月末までには設置基準を満たす様式に整えた上で申請書を北海道に対して提出する必要がありますので、それまでに準備を終わらせるという必要があります。

それともう1点が検討課題ですが、一つには日

体大の検討課題としましては、初期投資額について、2点目は中長期的な財政見通しについて、3点目は教員等の人材確保について、それから4点目が、委員から御指摘があった卒業後の就職先の確保ということでございます。

就職先の確保については、障がい者の支援団体や北海道との協議や協力を得て就職先について確保したいということで、22日の決定に至ったというふうにお聞きしています。

#### ○山田委員

飯田委員からだいたい聞いたのかなと思います。まずは22日の理事・評議員会で全員一致の承諾があって、網走に誘致が決定したということをお聞きして、私としても一人も反対がいなかったということも含めて大変ありがたい話だし、歓迎をさせていただきたいと思います。

それで、当市も来年度予算に準備室を立ち上げて、日体大のほうでも準備室的なものをつくってですね、連携をとりながらというような、新聞報道もされていました。

そういう意味で、これから不確定要素も含めていろいろ協議をしていく中で決まってくることももちろん出てくるわけですし、もし機会があれば、こういう委員会の中で明らかにできる分があれば、逐次報告をいただければとこんなふうに思います。

それで9月が申請ということですし、平成26年に向けて本格申請含めて出てくると思いますけど、原課も含めてですね、いろいろ大変だと思いますけど、しっかりと対応していただいて、ぜひ安全な形で迎えるような形をとっていただきたいと、こんなふうに思います。

#### ○井戸委員

前回も申し上げましたけれども、すばらしいことだなと、網走もこれだけ全国に認められたのだなという強みというものを活かして、いろいろな方々が集まって来ますので、自信を持って、市民になるべく御理解と御協力をいただきながら、街が全部一体となってこれに取り組んでいただきたいというのと、その先の就職先等のこともございますので、こういった部分も含めて、市がいろいろな形で市民と協力をいただきながら、進めていけるような形をとっていただきたいというふうに申し上げて、終わります。

#### ○高橋副委員長

こういった経過ですということ、市内にも大勢の雇用が発生すると思われま。特に職員で

すとか寮母さんですとか、そういったことが期待されますので、本当にうれしく思います。

以上です。

#### ○飯田委員

報道を見る限りでは、日体大の附属高校でなしに新設校ということであれば、先ほど岩永課長が言われた初期投資や財政的支援や人材確保先だとか卒業後の進路だとか大変重いというか、期待と同時に重い課題を学校も背負いますし、受け入れた地元も背負うと思います。

私たちはそこら辺をしっかりとどういう形で地元が応えていくということも必要です。それこそ、今言った卒業後の受け入れというのはなかなか厳しいものがありますし、現行の障害者自立支援法、新しい法律ができるという段階で、この学校は先に成立したスポーツ基本法にのっかって作られるということが、本当に障がい者の方がしっかりと守られている形での学校というものになるように、私たちはそういう面からも応援していかなければならないと考えています。

きょうは決定されたという報告を受けたので、それも含めて今後本委員会でもいろいろ深めていきたいと思います。

#### ○小田部委員長

それでは委員長から皆さんに申し上げます。ただいま皆さんの意見を委員会として理事者と協議していただいたのですけれども、山田委員、あるいは言外にそういうふうな思いも発言をいただいたと認識しておりますが、これは本当に網走にとって、全国的に非常にニュースソースのある課題なだけに、その対応というのが極めて重要だと。

皆さんの御発言のとおり、認可に向けて準備をしていく、計画書を出していく、そういうふうな過程の中で、仮に物の量だとか形だとかいろいろなことが出てくると思います。

そういったことを、皆さんのいまの御発言の中に、十分言外にあることですから、委員長としても、これも極めて適切に対応しなければならないと、このような認識を十分持っているところでございますので、今後の執行部との、所管委員会ですから、対応の仕方について、委員の皆さん方どうぞ正副委員長にその辺の十分な連携を取りながら、しっかりとこの問題を全市に向けた対応に、滞りのないようにしてまいりたいと思いますので、ただいまこの場所において、そういうふうな認識を委員の皆様と協議をして臨みたいと、このよ

うに思います。

委員の皆様、その他何かありますか。

(「なし」の声あり)

**○小田部委員長**

理事者のほうは何かありますか。

(「ありません」の声あり)

**○小田部委員長**

なければ、以上をもって総務文教委員会を終了させていただきます。御苦労さまでした。

午後1時14分閉会